

特定非営利活動法人 奈良県防災士会

令和5年度 第4回 理事会 議事録

1. 日 時 令和5年12月9日（土） 午後1時00分から1時30分
2. 場 所 王寺町文化福祉センター（南公民館）
3. 出席者数 理事総数18名のうち出席者数15名・表決委任者数 2名
監事総数3名のうち出席者数1名
4. 報告事項
報第1号 災害ボランティア研修会について
報第2号 本部臨時総会について
報第3号 その他の報告事項について
5. 協議事項
議第1号 令和6年度総会について
議第2号 当面の日程について
6. その他
7. 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (1) 開会
理事長末田政一氏が開会を宣言した。
司会者である八幡領事務統括から本会が定款第36条に基づき成立している旨の報告がなされた。
 - (2) 議長選出
定款第35条により理事長が議長を務める。
 - (3) 議事録署名人の選出及び書記記録人の指名
議長より議事録署名人選出に関する事項を諮ったところ、「議長一任」の声があったので、議事録署名人に板谷理事・八木沢理事を選出することに決定した。
なお、本理事会記録者に八幡領理事を指名した。

(4) 議事審議

議長が議事の審議開始を宣言した。

一. 報告事項

報第1号は、大坂間理事から以下のとおり報告された。

災害ボランティア基礎研修を12月9日、1月13日の2日日程で八木沢理事と二人で各回90分の講座を予定している。次回の1月13日は実技を交えての内容を予定している。応募された方は19名。資料も準備できている。前回理事会で保留してあった傷害補償であるが、傷害保険に加入することとした。

報第2号は、植村副理事長から以下のとおり報告された。

12月2日に日本防災士会臨時総会が開催された。審議事項は活動予算である。今年度の総会審議事項から活動予算が省かれてあったためである。令和3年の時に審議しているが、NPO法人であれば定款変更を行った際は、担当部局、所轄に届出したうえで認証を受けなければならなかったがその手続きを怠っていた。つまり、総会において予算審議を行わなければならなかった。それを省いていたため、本年度の予算執行ができない状態であったということ。以上が1つ目の課題。2つ目は内部で本部監事からの監査報告で前副理事長が本部の資金を不正支出していることが指摘された。特別検証委員会を立ち上げて、そこでどう処理するのかを検討する。現場で頑張っている防災士が前を向いていけるように総務財務委員会を立ち上げている。私が委員長として任されている。今後どのようにすべきかをまとめて本部へ提案しなければならない。なぜそのようなことができたのか。組織として体制に問題はなかったのか。といった観点で議論を進めている。

報第3号は、石川理事、板垣理事から以下のとおり報告された。

ダイバーシティ防災推進委員会は避難所運営など3つの取り組みを行っているところ。

プラットフォーム関係の報告事項はない。

以上、報第1号から報第3号議案について全員異議なしとし承認された。

二. 協議事項

議第1号 令和6年度総会について、末田理事長より以下の提案があった。

次回総会の日程について、例年通り5月の第四週日曜日にあたる5月26日に開催する。この提案に対し質問意見はなく提案通りの日程で総会を開催することが可決承認された。

議第2号 当面の日程について、八幡領理事から会議資料より説明があり修正、追加等が行われ可決承認がなされた。

次回理事会の日程について協議の結果下記のとおり決定

次回理事会は、通常理事会とする。

日 時 令和6年1月13日（土）12時15分～13時15分

会 場 王寺町文化福祉センター

以上をもって、議長から理事会の議事が終了した旨が述べられ、閉会が宣言された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議 長 ⑩

議事録署名人 ⑩

議事録署名人 ⑩